

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA)		
ナンバリングコード	E21201	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002433	クラス名	閻ゼミ
担当教員名	閻 亜光		
履修上の注意、履修条件	本ゼミナールは人的資源管理、組織、ダイバーシティマネジメントに興味ある学生向けの授業です。また、基本は2年次から4年次までずっと同じメンバーで勉強します。グループワークが求められるものがあり、途中で辞めることを極力を避けてください。大学での学びについて学習すると同時に、社会勉強やソーシャルスキルも身につけられます。		
教科書	特になし。		
参考文献及び指定図書	授業中に指示します。		
関連科目	ゼミナールⅡB、ゼミナールⅢ、ゼミナールⅣ、経営組織論		

○基本情報			
授業の目的	本ゼミナールは、まず大学での発表方法を勉強します。発表するにあたって、パソコンのスキルや使用するツールや効果的な伝え方を学習します。プレゼンテーション能力を培うことは目的です。また、これからずっと一緒に同じゼミに所属するメンバーとの協働学習も求められ、本ゼミナールは、グループでの問題解決や意思決定について勉強します。授業終了後、学生と教員はお互いに分かち合い、今後目指す未来像がクリアになります。他の学生との絆も深まり、有意義な大学生活を送ることができます。		
授業の概要	本ゼミナールは、講義やグループワークが主な形式で展開されます。学生はグループワークのやり方、発表方法、効果的な伝え方など学習します。また、個人ワークとグループワークにわけ、それぞれの能力は授業を通して伸びます。授業前半は基本的に教員が教える形で進めて行きますが、8回目以降、学生が主体となり、与えられた課題を解決します。本授業は3年間のゼミナールのスタートとなり、ゼミを運営するため、役割分担を決めます。また、教室の外に出て、フィールドワークのような回も設けられています。チームワーク、個人スキル、ソーシャルスキルなど身につけられます。評価方法は成績評価の指標をご確認ください。 *学期末にゼミナール内の授賞式が行われます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」	
地域志向科目	カテゴリーⅡ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ゼミナールに出席し、グループワークには積極的に参加すること		15点	15点
【知識・理解】	プレゼンテーションの方法、意思決定方法、問題解決方法が探せること		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	個人発表とグループ発表に意見を述べられ、パワーポイントを操作できること	20点		
【思考・判断・創造】	効果的な伝え方、論理的思考、チームワークできること			20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
1.出席は一回につき1点で、最低限10回出席すること。 2.全ての授業に出席すると、ボーナス点数5点加算されます。 3.個人プレゼンテーションは20点、グループプレゼンテーションは30点です。 4.第3回、第6回、第15回は小課題があります。(3×5点) 5.グループワークや授業中の参加態度は20点です。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
1.本ゼミナールは秋学期のゼミナールⅡBに向け、フィールドワークを夏休みに実施します。日程調整は初回の授業にて行います。 2.連絡係は決めますが、ゼミナール向けのLINEグループを作成します。 3.グループでの連絡は深夜の時間帯を避けてください。 4.指導教員はオフィスアワーあり、自由にご利用ください。 5.感染症や公欠等による欠席は事前にご連絡ください。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 閻 亜光	授業コード	E002433
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> 本授業の評価方法、教員紹介をします。また、学生同士はお互いに知り合うため、初回からアイスブレイキングを行います。ゼミナールのLINEグループや役割を紹介し、次回アイスブレイキングが終了後、各自の役割を決めます。さらに、次回のアイスブレイキングのため、グループ分けします。				
予習	特になし			(約2.0h)
復習	次回のアイスブレイキングのルールを勉強すること			(約2.0h)
<b>2. アイスブレイキング</b> 3種類のアイスブレイキングを経験します。アイスブレイキングを通して、他の学生の性格を知ることができます。また、ゼミ運営の役割分担を決めます。最終課題のグループはこの回で決めますが、最終課題だけのグループメンバーです。プレグループ課題などランダムでメンバー構成が変わります。				
予習	次回のアイスブレイキングのルールを勉強すること			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
<b>3. 発表スキル</b> 大学でプレゼンテーションに使うパワーポイント、及び現在流行っているPREZI等のツールを紹介し、この回では、小課題がでます。課題は授業中に与えられますが、次週まで提出する必要があります。				
予習	パワーポイントの使い方を調べてください			(約2.0h)
復習	小課題を書いて期限内に提出してください			(約2.0h)
<b>4. 効果的な資料の作成方法</b> パワーポイントというツールは主な発表ツールですが、パワーポイントを使用して、効果的にプレゼンテーションのやり方を学習します。できれば、パソコンを持参してきてください。難しい場合は、相談ください				
予習	パワーポイントの使い方を調べてください			(約2.0h)
復習	パワーポイントのコツを復習してください			(約2.0h)
<b>5. 効果的な伝え方</b> プレゼンテーションの仕方を学習します。いかに効果的に伝えたいことを伝えられるかを事例を通して勉強します。クイズ形式で展開されますので、グループワークが求められます。				
予習	プレゼンテーションについて調べてください			(約2.0h)
復習	講義中に強調されたことを復習してください			(約2.0h)
<b>6. 論理的思考</b> この回では、問題解決方法を勉強します。主にMECEとロジックツリーについて学習します。この回でもグループワークが求められます。また、学習した知識を用いて、小課題に運用できるようにしましょう。				
予習	MECE、ロジックツリーとは何かを調べましょう			(約2.0h)
復習	出された小課題を期限内に提出してください			(約2.0h)
<b>7. チームワークと意思決定</b> グループワークを行う際に、注意点を学習します。個人と組織の関係性、グループワークに問題が起きた時の解決方法も勉強します。今回はいくつかのケーススタディが用意されています。				
予習	グループワークについて調べてください			(約2.0h)
復習	ケーススタディで強調された解決方法を覚えてください			(約2.0h)
<b>8. 個人ワーク</b> 実際に、個人の発表を準備します。次週の個人発表に向けて、発表テーマを説明します。また、発表の準備を行います。				
予習	今までプレゼンテーションに関する内容をもう一度みてください			(約2.0h)
復習	次週の発表に向けて準備してください			(約2.0h)

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 閻 亜光	授業コード	E002433
<b>学修内容</b>				
<b>9. 個人課題発表</b> 与えられた課題を発表します。全員発表しますので、人数により、10回目の振り返り回になる学生もいます。順番については当日決め方を説明します。他の学生の発表を聞き、評価シートにて評価を与えてください。				
予習	与えられた課題を準備してください			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
<b>10. 中間振り返り</b> 前回の結果を発表します。プレゼンテーションをする際に、特に気を付けるべきことや全員に共通する問題点を学習します。				
予習	特になし			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
<b>11. プレグループ課題</b> 最終グループ課題を行う前に、プレグループ課題を行います。教室外で行います。実際に、学内の指定された場所で集合し、当日行うワークを説明します。また、その場で課題が与えられますが、次週に向けて、10分間程度のプレゼンテーションを準備します。詳細は当日説明します。				
予習	個人ワークの振り返りを確認してください			(約2.0h)
復習	与えられた課題をグループ内で完成させてください			(約2.0h)
<b>12. プレグループ発表</b> プレグループ発表します。今回の発表は、学外審査員を招待し、第三者の評価も得られます。個人発表と異なり、他のグループに評価を与えません。質疑応答の時間が長めにとりますので、質疑応答の練習もします。結果を次週発表します				
予習	グループ課題の発表練習をしてください			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
<b>13. 最終課題</b> プレ発表の結果発表と振り返りをします。振り返りを踏まえて、最終課題を行います。最終課題は10回目の授業で説明されます。この回は、最終プレゼンテーションで求められるものを説明します。説明後、各グループで準備を進めてください。*10回目以降事前に準備することをお勧めです。				
予習	最終課題の解決方法を探してください			(約2.0h)
復習	発表の役割分担や発表の練習を行ってください			(約2.0h)
<b>14. 最終発表</b> 各グループが与えられた課題を発表します。今回は指導教員だけの評価になります。時間もプレ発表より長くなります。				
予習	最終発表を準備してください			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
<b>15. フィールドワークの確認</b> 夏休み中、ゼミナールを履修する学生全員のフィールドワークを行います。合宿に近いようなものです。フィールドワークは学生間の絆がさらに深まります。また、フィールドワークの詳細をこの回にて最終確認します。授賞式も行われます。*フィールドワークの参加は本授業の成績に影響なし。				
予習	特になし			(約2.0h)
復習	特になし			(約2.0h)
<b>16.</b>				
予習				
復習				